



発行
加賀保護区保護司会

事務所
加賀市大聖寺南町
ニ 11-5 番地
TEL (0761) 75-7428



中学生の 1 日保護司 (7 月 2 日)



『生きづらい?』

金沢保護観察所

所長 上岡靖之

本年四月に仙台保護観察所から転任してまいりました。加賀保護区の保護司の皆様、関係団体・機関の皆様と一緒に働かせていただけることに感謝し、精励する所存ですので、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年の社会を明るくする運動では、「#生きづらさを生きていく。」をメインコピーとして謳っています。

皆さん、生きづらさはありませんか？。私は子どもの頃から内向的な性格で、人前に出るのが苦手で、他人から言われた何気ない一言がとても気になって、心の中で何度も反芻したりしてきました。この性格は面白いことに、今の歳になっても全く変わりません。多くの人には大丈夫でも、当人には苦痛であるというのが、生きづらさの定義の一つと言えます。

犯罪や非行には、より深刻な生きづらさが影響していることが少なくありません。その原因は、いじめや虐待、依存や障害、貧困や家庭の問題、社会的孤立や孤独であったりします。近年の研究では、子どもが親から受けた暴言が、子どもの脳に物理的な損傷を与えていることが脳画像から分かり、子どものその後の人生の心や行動上の問題を引き起こしているという知見もあります。

こうした自分一人ではどうにもならない生きづらさを抱えた人に寄り添い、私たちも含めて生きづらさを分かち合い、生きづらさを包み込む地域社会を作ること、社会を明るくする運動が寄与できれば、どれだけ素晴らしいことかと思えます。

第七十二回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを助ける地域のチカラ

『社会を明るくする運動』はすべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。今年で七十二回目を迎えました。加賀市でもコロナ禍で自粛し



中学生一日保護司による啓発活動

ていた応募作品の表彰式や出発式、一日保護司活動などの事業が三年ぶりに盛大に実施されました。立ち直ろうとしている人たちを地域で孤立させない支援の在り方について、より多くの方々に考えていただける機会になればと願っています。



優秀応募作品表彰式



応募作品審査と優秀作品展示



ケース研究会

ケース研究会を振り返って

研修部 東出 芳敬

六月二十四日、山代中学校にてケース研究会を行いました。私にとっては二度目でしたが、出席者も多く、リモートでの発表と初めての事も多くありました。

アンケートの結果を見ると、すべての生徒が討議内容の趣旨を理解できたと答えてくれ、また課題が良かったことやグループ分けをしたことにおいては色々な意見が出て良かったことなど、どれも高評価が多い結果でした。なぜ非行に走ったか？との間に百二十七件という沢山の回答があり、

- ・ストレスが溜まったから
- ・自分の居場所がなかったから



・相談する相手がいなかったから
・周りにプレッシャーをかけられ、自分を理解し認めてもらえなかったからとの意見が多くありました。

非行に走ったことは良いことではありませんが、そこに達するまでに色々な原因があることも生徒たちは理解できていたように感じました。全体の感想として、今の中学三年生は真面目でしっかりと自分の意見を持ち自分の言葉で表現できることに驚きを感じました。私たち五十代、六十代が学んだ頃とは確実に時代は変化し、昔の良意味でのいい加減さや大雑把さはなくなり、真剣に考え真面目に生きているのが当たり前となった様に感じます。この生徒たちを見てみると、もしかして『二つの道』は今の時代とは少しずれているのではないかという違和感すら感じました。

世界で戦争が起り、人を人とも思わなくなることが起こっている現在、私たちは一人ひとりを大切に、丁寧に見つめる社会になるよう、努力していかなければならないと思います。

ケース研究会に参加して

33 H 小酒 璃子

保護司さんの話と『二つの道』の動画を見て、犯罪を犯してしまっただ人も悪いけどその人よりも犯罪をして自分を変えようとしているひとに暴言を吐いたり、イジメをしたりする人のほうが良くないと、私は考えました。話を聞く前の私だったら近づくのが怖いから近づかないようにしていたと思います。でもこの会を終えた今の私は、犯罪を犯してしまった人の支えになることが一番大事だと知りました。又、私たちの周りにも更生をしようとしている人がいると思います。なので、そういう場面にあったと



きは、その人の支えになる行動をしようと思いました。

ケース研究会に参加して

33 H 小畑 心

この活動を通してアルコールのトラブルや薬物のトラブルなどの危険性は、自分の身近なところに潜んでいると感じました。

ドラマなどを通して主人公だけに着目してみるのではなく周囲の人にも着目してみることで、トラブルは一人だけの問題ではなく家族や地域全体の問題であるということを感じました。

また、更生を成功させるためにも地域や家族の協力がないと保護司だけでは、更生は不可能だということに気付かされました。これからは、トラブルを起こしてしまった人に対して、自分はどうのように接していくべきかを考えながら生活していきたいです。



十六年の充実の日々ありがとう

木村 勝保

五月二十四日、金沢保護観察所... 感謝状を頂いた。併せて「保護司の認証とバッジ」もお返しし、私の十六年間の保護司活動は終了となった。

サポートセンター開設、中学担当保護司、七十年誌編集、副会長と分区長など十六年間に貴重な体験に出会えたし、活動を通じて多くの保護司仲間と交流できたことは財産だった。初めての任用時から多くの対象者の更生のお手伝い... 好解除を得て巣立っていった青年への支援ができたことは納得のいく終わり方だった。

二十二年の「世界人助け指数」

ご協力ありがとうございました

令和3年度賛助会員名簿

- 大聖寺分区
(有)河野石産
(有)第2なかし丸
(有)加納仏壇店
(有)ナイトック・プレジジョンアンドテクノロジー(株)
(医)長久会加賀こころの病院
(株)加賀商工会議所
(株)友星自動車
(有)プロデザイン
(中)出一郎
(有)吉田燃設
(伊)林永幸
(有)めがねと補聴器のやました
(本)善寺

- 片山津分区
(有)矢田郷商店
(有)冠婚葬祭ながやま
(有)鼻月会
(有)北陸食堂
(医)池本整形外科
(東)野産業(株)
(株)竹内電気(株)
(株)スガモトテント
(近)藤野医院
(有)奥野モーターズ
(株)ホテル森本
(勝)光寺
(静)念寺
(稻)手鉄工(株)

- 山代分区
(株)山代印刷
(株)伸光建設(株)
(株)サイエナ薬局
(有)ササハラ旅館協同組合
(株)シモアラ
(大)嶋茂
(株)だいち
(石)田雅樹
(紅)柿荘
(牧)野裕

- 山中分区
(上)田医院
(山)中温泉商店協同組合
(有)辻新太郎
(株)梅田隆平
(山)中温泉料飲業協同組合
(恩)栄寺
(燈)明寺
(井)筒幸商工会
(山)鈴木医院
(法)月星製作所
(株)興商會
(株)尾山製作所

有名作家チャリティ作品展
多くのご協力に感謝

令和四年度第四十五回有名作家チャリティ作品展が七月二十九日から八月一日まで... 今年も加賀保護区地域の有名作家から多くの作品が寄贈されました。入札により更生保護活動の大切な資金として活用されます。出展作家の皆様改めて感謝いたします。

- 中村 秋塘 工芸 彩釉 ぐい呑み
道場 八重 工芸 黄色幾何学文角小皿
山本 芳岳 工芸 赤絵細描鳳凰図平盃
山下 一三 工芸 色絵磁器雲形鉢
茅野 憲夫 工芸 椿文皿
池島 保雄 工芸 清白瓷デミタスカップ
坂野 清一 工芸 和のあかり
大下 宗香 工芸 蝶蒔絵蛤香合
大下 百華 版画 シークレットガーデン
上野 茂男 絵画 秋鶴仙溪
松本 隆 絵画 金沢城の春
児玉 孝吉 絵画 加佐岬灯台

家族功労表彰

加賀保護区では、勤続十年を経過した保護司のご家族を顕彰しています。家族の理解と協力が私たちの活動を支えてくれます。

令和四年一月二十三日、六名の保護司のご家族に感謝状を授与しました。

- 浜 洋 (片山津)
岩坂久美子 (片山津)
新家千代子 (山中)
大神 妙子 (大聖寺)
大嶋 茂 (山代)
中村紀久枝 (山代)

人事往來

(令和)

- 退任
4・2・10 紺谷 欽夫 山中
4・5・24 木村 勝保 片山津